

Indonesia Weekly

2019年11月18日

(対象期間：2019/11/11～2019/11/15)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2019年11月15日)

【株式市場】

14日に発表された中国の経済指標が悪化したことを受けて、アジア株が全面安となる中で、インドネシア株式市場も下落しました。金曜日に発表された10月の貿易収支が予想に反して黒字となったことを好感し、買戻しが優勢となりましたが、週間では下落しました。セクター別では基礎産業・石油化学などが上昇した一方で、鉱業、インフラ・公益など多くのセクターが下落しました。

2019/11/8	2019/11/15	変化率
6,177.99	6,128.35	-0.80%

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2019年11月15日)

【債券市場】

インドネシア10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。米中交渉の進展期待の一方で、香港情勢の悪化への懸念を背景に、これまで堅調だった外国人の資金流入は流出に転じました。しかし、週末にクドロー米大統領国家経済会議（NEC）委員長が貿易協議の第一段階の合意に近いとの発言を好感したことや、来週予定されている国債入札の前に外国人中心に買戻しの動きが見られました。

2019/11/8	2019/11/15	変化幅
6.975	7.029	+0.054

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2019年11月15日)

【為替市場】

ルピアは対円、対米ドルともに前週末比下落しました。米中の通商協議の進展期待を背景に米ドル高傾向となったことから、ルピアは下落しました。また、香港情勢の激化や14日に発表された中国の経済指標が悪化したことなどもアジア通貨全般に重石となり、ルピアも弱含みとなりました。

2019/11/8	2019/11/15	変化率
0.7795	0.7719	-0.97%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。